

による高血圧や糖尿病などの治療で予防することもできることについて講演をいただきました。

第二部は、熊本大学大学院生命科学研究所心臓血管外科学分野教授の川筋道雄先生を座長として、「よりよい治療結果を目指して」というテーマで開催しました。

順天堂大学医学部・大学院医学研究科心臓血管外科講座教授の天野篤先生から「より良い治療結果を目指してー心臓手術のタイミングと標準術式ー」と題して、バイパス手術やステント治療などについて講演をいただきました。

第三部は、熊本中央病院副院長の大嶋秀一先生を座長として、「治療と不整脈・狭心症、心筋梗塞の観点から」というテーマで開催しました。

熊本大学大学院生命科学研究所不整脈寄附講座特任教授の山部浩茂先生から「心房細動の診断と治療」と題して、心房細動は心電図で診断できることや治療には、まず抗不整脈薬を投与することなどについて講演をいただきました。

次に、同じく循環器内科学分野准教授の掃本誠治先生から「狭心症、心筋梗塞の診断と治療」と題して、内科的な治療を中心に話していただき、生活習慣病の改善やコントロールが重要であることなどについて講演をいただきました。

約七百人の来場者があり、内容を、十月二十日の熊日新聞紙面に掲載しました。第五十一回は、二月二十二日(土)にホテル熊本テルサにおいて、「元気に長生き!『ロコモ』対策」と題して開催しました。

「ロコモ」とは「ロコモティブシンド

ローム」の略称で、骨や関節、筋肉などの障害で体を動かす能力が低下し、介護が必要になる危険性が高い状態のことをいいます。ロコモ対策は、健康寿命(健康上の問題がない状態で日常生活を送れる期間)を延ばす意味でも非常に重要です。

そこで、今回のセミナーでは、ロコモについて専門医にわかりやすく解説していただくとともに、自分でもできる「ロコチェック」や「ロコトレ」、日頃の食生活で気をつける点なども紹介していただきました。

講演では、司会を肥後医育振興会常任理事の遠藤丈夫が務めました。

最初の講演は、熊本大学大学院生命科学研究所整形外科学分野教授の水田博志先生から、「『ロコモ』って何?」と題して、ロコモとは何か、また、ロコモはメタボや認知症とも非常に関係していることなどについて講演をいただきました。

二番目の講演は、熊本大学医学部附属病院リハビリテーション部助教の大串幹先生から「ロコチェックとロコトレのポイント」実技を交えて」と題して、七つの「ロコチェック」のことやロコモを防ぐ運動「ロコトレ」のことについて、実技を交えて講演をいただきました。

三番目の講演は、熊本中央病院栄養科科長の村岡まき子先生から「食生活で早めの『ロコモ』対策」と題して、ロコモは栄養と深い関わりがあることから、日ごろの食生活を見直し、健康的で丈夫な体を作り、ロコモを予防することについて講演をいただきました。

約三百五十人の来場者があり、講演終了後のパネルディスカッションでは、講

演者全員が登場し、あらかじめ寄せられた質問と会場からの質問に講演者が答える形で行いました。内容を、三月二十二日の熊日新聞紙面に掲載しました。

総合生活情報紙「あれんじ」の健康・医学・医療・学術記事の執筆・監修

常任理事(庶務担当) 山本 哲郎

平成二十五年度も、熊本日日新聞社発行の総合情報紙「あれんじ」(タブロイド版一六頁三五万部発行)の第一土曜日分の十面と十一面の見開き二頁について肥後医育振興会が執筆・監修を行い、医療・医学並びに医学に隣接した学問分野の学術情報を県民に提供しました。メインの記事として医学医療関連の「元気の処方箋」を八回(五、六、八、九、十一、十二、二、三月)、また、周辺の学術記事「熊遊学ツーリズム」を四回(四、七、十、一月)掲載しました。前者は、熊本大学本荘キャンパスの医学系の先生方に、また後者は、主に熊本大学黒髪キャンパスの先生方に担当していただきました。

「元気の処方箋」では、読者層が厚い主婦の皆様方にとってより身近な題材を選んでみました。それぞれのテーマを下記に記載しております。それぞれの頁にコラム欄を設けていますが、「元気の処方箋」の際は「子育て応援クリニク」と「慈愛の心医心伝心」を、また「熊遊学ツーリズム」の際には「四季の風」と「熊本まつり探訪」を掲載いたしました。なお、これらの全ての記事を「肥後医育振興会」のホームページに掲載してお

り、どなたでも自由に読めるようになっていきます。「慈愛の心医心伝心」などは読者からの読後感想が毎回のよう熊本日日新聞社に寄せられているそうですので、皆様、ぜひホームページもご覧下さいませ。

「元気の処方箋」

五月 在宅緩和ケア
六月 矯正歯科治療五つのヒントQ&A
八月 医療の現場に生かされる漢方薬・漢方診療
九月 いつまでも若々しく健康に!中高年のための食事のヒント
十一月 がんサロンの知っていますか?
十二月 若い女性に多い痔の病気
二月 更年期障害を乗り越えよう
三月 そろそろ体を動かそう(有酸素運動と筋トレ)

「熊遊学ツーリズム」

四月 「非アルキメデスの幾何学」のワンダーランド
七月 「永青文庫」に埋もれる宝探し
十月 骨格筋の底力
一月 細胞間コミュニケーション

「第四回熊本県医療人育成総合会議」の開催

常任理事(庶務担当) 山本 哲郎

「熊本県医療人育成総合会議」の趣旨は、日本の医療需要がピークを迎えたとされる二〇三〇年に向けて、熊本における医療の能力をいかにして高めていくかを、医療界・医育界をあげて知恵を出し合っていくというものです。